



影野小学校だより No.15
令和8年1月14日
文責：山本

一日一日を大切に

ぐっと冷え込んだ3学期第1日目の朝、少し眠そうな表情もちらほら、学校モードにスイッチを切り替え中の子ども達を迎えたことでした。しかし、日が昇り暖かくなりはじめた休み時間になると校庭に出て、学年入り混じってサッカーや一輪車に興じるグループ、学校園では立派に育った大根を手に満面の笑顔の2人組と、いつもの元気いっぱい姿を目にして安心しました。

二十四節季では1月～3月は春です。春分を過ぎた3月の卒業式・修了式には、桜のつぼみもふくらみ咲き始めているかもしれません。実際には1月、2月が一番寒い時期で、春咲きの花はこの寒さにじっと耐えて春に開花します。3学期の49日間は、今の学年のまとめと新しい学年の準備が必要です。凡事徹底、今まで大切にしてきたことを継続し、そして新しい何かにチャレンジしてほしいです。大地にしっかりと根を張り、春には一人一人それぞれに自分の花を咲かせてくれることを期待します。保護者の皆様、地域の皆様、今学期もよろしく願っています。



能登半島沖地震から2年が経過しました。昨年12月には青森県東方沖で震度6強、今年1月6日には島根県東部で震度5強の地震が発生しています。南海トラフ地震が近づいていると感じずにはられません。人はいつ、どこで被災するか分かりません。目の前の子ども達には、自分の命は自分で守る知識と体力、判断力と行動力、周りの人と助け合う知恵や優しさを育てていかななくてはと、改めて思います。